

六郷特別出張所管内	
人口	男32,907名
	女31,237名
	計64,144名
世帯数	29,882世帯
平成17年10月1日現在	

# 六郷わがまち

発行 わがまち大田  
 六郷地区推進委員会  
 編集 「六郷わがまち」編集委員会  
 事務局 大田区六郷特別出張所  
 〒144-0055  
 大田区仲六郷2-42-2  
 電話 03(3732)4885(代)

## 住み良いまちづくりを

### めざして(上)

#### 町会長・自治会長が抱負を語る

少子高齢化社会を迎え、地域におけるコミュニティづくりの重要性が高まっています。この二・三年六郷地区の町会・自治会の大半で会長が交代したことに伴い、それぞれの会長にまちづくりへの取り組みを伺いました。本号ではまず、仲六郷・西六郷7町会の方にご意見を発表いただきました。

町会行事に積極的に参加することにより、地域への理解と関心を高め、住民としてルールを守ることは最低限のマナーであること、いま一度自覚し一人ひとりが郷土愛を持ち、住みよい町づくりに努力してほしい。



人間関係が希薄な時こそ町会行事に参加を  
 仲六郷一丁目町会  
 会長 石渡 金次郎

現在、当町会の会員構成は、集合住宅の住民が60%以上を占め、なかなか会員相互の意志の疎通が充分図れない感がある。それには、日頃から近隣と気軽に話し合える雰囲気づくりをすることが、明るい町づくりの第一歩ではないか。

わが町仲一町会は、東に京急線、西にJR線の間にあり、交通の便は極めて良好である。最近、京急高架事業の工事が着々と進み、これに伴い永年住み馴れた町とも別れなければならない

また、高齢少子化時代になり、高齢者の割合がますます増え、災害時には弱者支援活動、あるいは、近隣との助け合いが重要である。町会では、年間各種の行事を実施しているが、これら

#### 大きく変る雑色駅周辺

仲六郷二丁目町会  
 会長 吉田 博一



当町会も、発足してから半世紀を過ぎ、古い住宅がたぎとぎと建て替えられ、明るい町並みになってきたが、発足当時と町の景観は、あまり変化のない町

最近、京浜急行線の連続立体交差化が着々と進んで、平成24年度完成を目標に、高架線の工事が行われている。当町会内に位置している雑色駅周辺も、高架線により景観も大きく変貌すると思う。当然の事、駅前広

場の問題も出てくるが、いずれにしても地域の生活環境を考え、明るい住み良い町づくりである事を願っている。

#### ◆防災の理念 自助共助の徹底

阪神大震災、また昨年は新潟県中越地震と大きな災害があった。決して他人事ではない。災害時の理念として、自分の身は自分で守る、地域は地域で守らなければならない。地域の人の防災に対する意識の高揚をはかると共に、普段からの災害の備え、近所との助け合いの大切さを、協力しあえる町であればと思っている。

#### 少子高齢化時代の

#### 安全安心街づくり

仲六郷三丁目町会  
 会長 鈴木 満明



わが町会は、昭和27年初代町会長より歴代会長を経て、第14代目の会長として平成16年に引き継いだ。バブル崩壊後、景気回復の遅れと後継者難もあいまって、商工業の企業の減少があり、その跡地にマンションや戸建て住宅が林立して来た。町会会員として新しい顔ぶれが増えたが、子供数は激減してお

り高齢者が増加した。

町内三大イベントの祭礼、盆踊り、餅つき等は仲三百寿会の参加協力をお願いし、学校PTAにも積極的な参加を求めている。結果老若男女が混然一体となり、町内交流がより深まっている。

最近治安神話が崩れ、また日本列島各地に自然災害が発生、

し、明日はわが街と一層の不安が高まっている。本年 4 月に防災部を立ち上げ、勉強会や訓練を実施し、意識や技術の向上を計っている。市民消防隊組織も

拡充し、消防訓練に留まらず応急救護技術も全員習得している。地域安全防犯パトロールには PTA・町会・百寿会が協力し、年間を通して実施している。ま

た、町内の六郷中学校と高畑保育園・町会との 3 者合同による、防災消防避難訓練を行う必要がある。特に保育園児在園時の災害発生に際しては中学生や地域

の人の協力が不可欠であり、このように地域における様々な立場を超えて一体となる必要がある。

### 区の指標「安心・輝き・潤い」に前進する

仲四町会

仲六郷四丁目町会

会長 岡田 平



### 和の精神を大切に

西六郷一丁目町会

会長 阿部 民有



当町会は、概ね住宅街と言った所である。最近では幾棟かのマ

ンションができ、新しく住民となられた人も多い。これらの人にとつては、将来終の地とも、又子供にとつては、我が郷土ともなるであろう地が、新旧の住民共々、「この町に住んで良かった」「素晴らしき我が郷土」と感じられる町であって欲しい。この願い実現の為に、祭礼行事に、そして町会行事の一つである餅つき大会、羽根つき大会、自転車教室、花火教室等に多くの人

の参加を求め、共に企画し、協力し、行動する中で互の人格を認め合い、友愛、信頼関係を作り上げて欲しい。  
定例実施の防火防災、防犯、交通安全活動にも、前述同様若男女を問わず、多数の参加を願って止まない。高齢化が進み町内にも独居老人や、老々世帯があるものと思うが、充分な方策は取られていない。

町会の目的も多々ある中で、  
1、町会員の相互扶助  
2、居住権の保持  
3、福祉と生活環境の向上発展  
4、会員の相互理解と親睦に寄与  
等々もその一部であろう。遅々とした歩みながら、役員は独善に陥ることなく、会員共々一歩一歩目的に向けて進み、快適な空間作りを願っている。

### 明るい未来の町づくり「改革を目指す町会運営」

西六郷二丁目町会

会長 石渡 繁



当町会は、平成十四年二月に「災害弱者支援体制」づくりを

発足させ、平成十六年に本格的に稼動し、調査の結果十三名の対象者があり、今後救助要員を充実して、有事のときのために、救助要員との連携を密に行動してまいります。また、毎年総合防災訓練を実施しております。今年には夜間に防災避難訓練と称し、実際の災害を想定した訓練を行いました。また、平成十一年に発足した市民消防隊（十五名）も充実し、毎月一回訓練を重ね、地域の災害を最小限に

い止めようと努力しており、また毎年十一月に十五町会合同の六郷地区市民消防隊訓練成果発表会に参加しております。六月の六郷神社祭礼には、西一町会と町内神輿の相互渡御を行い、友好を深めております。文化活動として毎月二回絵画教室を開催、今年で二年目を迎えました。今後、他方面での教室を考えております。そして、会員の皆様との情報誌として、新聞「西二町会だより」を年四回発行して

おります。また、古紙回収を毎月第三水曜日に実施し、町会運営の資金源に大いに役立てております。町会の皆様との親睦を計るために、毎年一回町会親睦旅行を実施しております。課題の一つとして当町会は、会員の加入率（六十五％）が非常に低いために、会員増強に努力しているところですが、今後は、平成の時代に即した町会運営を心がけ、住民と共に邁進したいと思っております。

### 明るく住み良い街づくりをめざして

西六郷高畑町会

会長 棚橋 春子



わが町会は、区民広場、野球場、サッカー場と広大な多摩川

河川敷を目の前に恵まれた環境の、会員数 2200 世帯と言うマンモス町会である。  
明るく住み良いまちづくりをモットーに、年度行事計画が立てられている。家族総出で 2 日間、2000 名もの老若男女が楽しむ納涼大会、年間を通じて行われている町内 5ヶ所の児童公園の清掃、春、秋の交通安全では登校時の通学路に立って、PTA のお母様方と一緒に安全

指導を行っている。  
今もつとも必要とされる災害対策は避難所への誘導、災害弱者の支援である。5 年前に発足した市民消防隊は、災害時の強力なリーダーとなるべく、毎月第二水曜日に懸命に訓練に励んでいる。さらに防犯運動、クリスマス子供映画会、等々 80 余名の役員の献身的な努力によって円滑に行われている。

区は、工場や企業跡地に大規模マンションや集合住宅の建設が多く、人口は増加しているが、ともと区の施設が少ない。特に、高齢者を含む住民が気軽に利用できる、新しく住民となった方々との交流出来るような多目的施設が一日も早く設置されることを、今後も積極的に働きかけて行く所存である。